

## 2 繋ぎ飼い ～ 今よりあと一回多く「給餌回数」、「掃き寄せ回数」、「飼槽掃除」を増やす！～

繋ぎ飼いの牛がエサを食べる環境として、他の飼い方と違うのは「目の前に与えられたエサを邪魔されることなく、自分だけで食べることができる」ということです。人間でいえば、一人一人のお膳が用意される会席料理といったところでしょうか。

また、「エサを食べる」場所と「水を飲む」、「休息する（反芻する）」、「排泄する」、「搾乳される」場所が全て同じという点も他の飼い方と大きく異なる特徴です。

このことから、繋ぎ飼いの採食環境には、次のような特徴があります。

### ★ 自分の目の前にあるエサしか食べられない

→ 他の牛に邪魔されずにエサを食べられる一方で、エサのある他の場所へ歩いていくことができない。

### ★ 飼槽に一度にたくさんのエサを置くことができない

→ フリーストールに比べ、飼槽隔壁をあまり高くすることができないため（下図）。

### ★ エサと飼槽が、水やヨダレで汚れやすい

→ 「エサを食べる」場所と「水を飲む」、「反芻する」場所が同じ。

### ★ 飼槽周辺の空気がホコリ、湿気、アンモニアなどでよどみやすい

→ フリーストールと比べ空間は狭く、「排泄」、「敷料交換」なども飼槽周辺で行われる。



## 【つなぎ飼いであと二口食べさせるために】

牛の鼻面に常に新鮮な空気が  
あたる環境を

- 換気扇は冬でもゆっくり回しましょう
- 入気口、排気口の確保も忘れずに

特に重要☆

新鮮なエサ、キレイな飼槽  
で食欲をそそる！

- 給餌回数、飼槽掃除の回数を増やす
- エサの掃き寄せ回数を増やすのも、食欲をそそる効果あり

食べて休んで(反芻)を容易に  
繰り返せる環境

- 寝起きしやすい繋ぎ方
- クッション性の高い牛床

十分に水を飲めるように

- 定期的な掃除で衛生的な状態をキープ
- 十分な吐水量を確保 (4~6L/20秒)

飼槽は掃除しやすいツルツルの表面

- 牛の口がとどく範囲 (100cm+α)

### ★ 給餌回数、飼槽掃除を、今よりあと一回増やしましょう！（多いほどよい）

キレイな飼槽にある新鮮なエサが、何よりも牛の食欲をそそります。一度に大量のエサを置けないことから、こまめな給餌やエサの掃き寄せで、食べたい時にいつでも食べられる状態を作りましょう

※一回の給与量が少なすぎても牛は満足できません。

特にお腹がすく搾乳後は、牛が思う存分食べられるよう十分な量のエサを配りましょう。

### ★ 牛の食欲を減退させない環境を整えましょう

- ① でこぼこ、ザラザラの飼槽表面には掃除しきれないエサが詰まって腐敗。異臭に敏感な牛の食欲を減退させます。
- ② 牛は1日に10~15回採食と休息(反芻)を繰り返します。短くてきついチェーン、硬い寝床、起きるときに肩や顔にぶつかるバー等はありませんか？
- ③ 夏は暑熱対策を！（換気の徹底、牛体に風を当てる、遮光する）

## 繋ぎ飼い事例① D 牧場 完全舎飼い+TMR給与

### 農場の概要

労働力：経営主、妻、父、後継者、後継者妻

(経営主・後継者は日中 TMR センター出役作業あり)

経産牛：110 頭 出荷乳量：1,230 t 個体乳量：11,390kg 分娩間隔：405 日

### 掃き寄せ「タイミング」と「回数」がポイント

給餌の1時間後に掃き寄せをすることでもう一口食わせる！



### 食欲を高める環境づくりも重要



## 繋ぎ飼い事例② E 牧場 タイストール+放牧

### 農場の概要

労働力：経営主夫妻

経産牛頭数：56頭 出荷乳量：560t 個体乳量：10,600kg 分娩間隔：385日

草地面積：採草地 49.5ha、放牧地 8.8ha（6牧区）

### 乾物摂取量を高めるために！

エサは、牛の肋の張り具合と搾乳前に給与するロールベールの食いつきを見て、個数単位ではなく給与量を決め、搾乳後に給与する。



ここを見ます

25℃以上で湿度が高い7月下旬から約3週間は、乾物摂取量が下がるため、日中舎飼いし、夜間に放牧する。悪天候、春と秋の冷たい雨、8月でも横殴りの激しい雨の時は、乾物摂取量が下がるため、放牧しない。

ロールベールは、牧草収穫時にカッティングロールベラーを使い、さらに給与時にはロールカッターを使い、牛が食べやすい長さ(約10cm目安)にカットする。

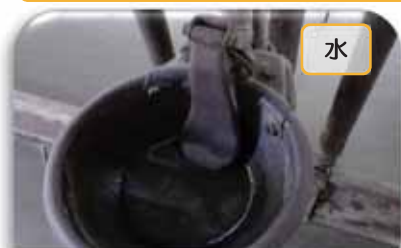


掃き寄せは  
朝2回  
夕方2回

パドックの草架は4箇所。エサが新鮮で食べやすいように、1個のロールベールサイレージをほぐしながら1/4個ずつ給与。



### 乾物摂取量を高める牛舎環境



水

ウォーターカップに入ったエサは近くを通るたびに取り除きます。



飼槽

- 汚れた部分の掃除（1回/日）
- 飼槽掃除（1回/日）



盗食防止

配合給与前にチェーンを短くし、隣の牛の盗食を防止しています。4



寝床・繋留方法

- 牛床マット+おが粉
- ニューヨークタイストール



換気

- トンネル換気（換気扇4台）
- 温度によって台数・速度を調整



冬の換気

牛舎の窓を少し(約5cm)開けたままにします。吹雪の際は、使い終わった紙袋などのモノをはさめます。

### 繋ぎ飼い事例③ F 牧場 タイストール（自動給餌機）＋放牧

#### 農場の概要

労働力：経営主夫妻、経営主父(哺育育成)、経営主母(飼槽掃除等)、従業員(搾乳)  
 経産牛頭数：86頭 出荷乳量：780t 個体乳量：8,500kg 分娩間隔：401日  
 草地面積：採草地 70ha、兼用地（採草・放牧）40ha 牧区：5牧区

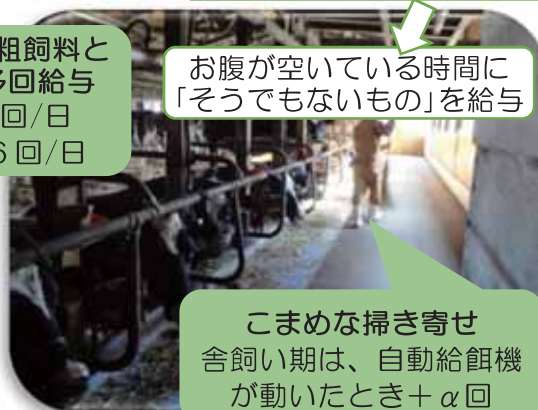
新鮮なエサを常に口のとどく範囲に！

粗飼料は「高品質」と「そうでないもの」を組み合わせる



自動給餌機で粗飼料と配合を少量多回給与  
 放牧期→4回/日  
 舎飼い期→6回/日

濃厚飼料の最大給与は9kg  
 放牧最盛期は半量の4.5kg



お腹が空いている時間に「そうでないもの」を給与

こまめな掃き寄せ  
 舎飼い期は、自動給餌機が動いたとき＋α回

「食べているか」チェックは欠かさずに！



「食べている」目安は肋の張り  
 放牧から戻ってくるときに確認しま

肋が張っていない牛には飼料の給与量を増やします

食べている牛の肋張り



もっと食べられる牛の肋張り

乾物摂取量をも高める“部屋づくり”



水槽

メラミンスポンジでこまめに磨いて清潔な水槽



飼槽

ワイパーと竹ぼうきで細かい残飼も取り除く



盗食防止

鉄パイプを設置して盗食防止



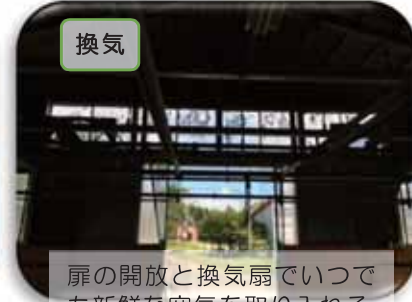
牛床・繋留方法

タイストールで寝起きがしやすく、敷料もたっぷり



除糞

舎飼い期は6回以上の除糞作業で牛床を衛生的に保つ



換気

扉の開放と換気扇でいつでも新鮮な空気を取り入れる

## 【分離給与のポイント】

最近では、繋ぎ飼いでTMRや細切サイレージ（高水分）を給与する農場が増えてきましたが、多くの農場では分離給与（粗飼料と濃厚飼料を別々に給与する）で、ロールベールサイレージ（中～低水分、長もの）を給与しています。分離給与、および乾いた粗飼料、長い粗飼料を給与する場合には、以下に注意して「乾物摂取量」を高めましょう。

### 1. ロールベールはほぐして、できればカットして給与しましょう

- 圧縮されたままだと食べづらい  
きざんだ方が絡まりが少ない（食べやすい）



長い草はできるだけほぐして給与する



できれば押し切りなどでロールベールを切断してから給与する



カットしてやるのがベスト

### 2. 品質がおもわしくない場合は多めに給与して、牛が良いところを選んで食べられるようにしましょう

- 分離給与だからできること（TMRではできない）



多めに給与して良いところを選ばせる

### 3. ロールベールサイレージは、品質の異なるものを上手く組み合わせて給与しましょう

- 1日2個給与の場合に、品質の良いものとおもわしくないものを1個ずつ など  
これもロールベールだからできること（バンカーやスタックなどの細切サイレージでは難しい）



収穫日やほ場を記録して、品質を把握しておきましょう  
（どの草地でいつ収穫したか）

### 4. 濃厚飼料（配合飼料、圧ペンとうもろこし等）は、粗飼料を十分食べている状態で給与しましょう その上で—

- ・一回の給与量は3～3.5kg以内
- ・給与の間隔は2～3時間以上開ける
- 第1胃内の状態を安定させるため（ルーメンアシドーシス予防）



粗飼料を十分に食べた腹をしていますか？（肋張りをチェック）